

各 位

東京都江東区木場一丁目 5 番 25 号  
サムシングホールディングス株式会社

代表取締役社長 前 俊 守

(コード番号：1408)

問合せ先：

上席執行役員管理本部長 東 剛 史

(電話番号：03 - 5665 - 0840)

(<http://www.sthd.co.jp/>)

平成 28 年 12 月期 通期 (連結・個別) 業績予想と実績の差異及び剰余金の配当  
に関するお知らせ

平成 28 年 12 月期通期(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)の、連結につきましては平成 28 年 11 月 14 日付「平成 28 年 12 月期 第 3 四半期決算短信」にて公表しました業績予想と、個別につきましては平成 28 年 2 月 15 日付「平成 28 年 12 月期 決算短信」にて公表しました業績予想と、実績の差異、並びに剰余金の配当に付きまして、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 平成 28 年 12 月期 通期 連結業績予想と実績の差異

平成 28 年 12 月期 通期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成 28 年 11 月 14 日発表)	10,103	112	83	48	14.11
今回発表実績 (B)	10,006	90	77	11	3.42
増減額 (B-A)	△96	△22	△6	△37	—
増減率	△1.0%	△19.8%	△7.9%	△75.8%	—

2. 通期 連結業績予想と実績の差異の理由

当事業年度の営業利益・経常利益に付きましては、海外事業に於ける予想していた売上未達に影響し、発表した予想数値を下回る見込みであります。

そして、親会社株主に帰属する当期純利益に付きましても、上述のとおり海外事業の売上未達による当期純損失が予想数値を上回り、株式会社サムシングの業績が大幅に改善したことにより、計画以上に同社の繰越損失が減少し、法人税等調整額が増加したため、連結上の当期純利益は予想に対し減少となる見込みであります。

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 通期 個別業績予想と実績の差異

平成28年12月期 通期(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成28年2月15日発表)	567	26	26	8.18
今回発表実績 (B)	568	157	157	45.39
増減額 (B-A)	0	131	130	—
増減率	0.1%	489.6%	493.4%	—

4. 通期 個別業績予想と実績の差異の理由

当事業年度の経常利益・当期純利益につきましては、販売費及び一般管理費における各種費用削減と、予定しておりました個別業績における繰越損失の解消に向けた子会社からの配当金受け入れ増額が奏功しました。その結果、経常利益及び当期純利益が予想に対し増加見込みであります。

5. 剰余金の配当 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月15日公表)	前期実績 (平成27年12月期)
基準日	平成28年12月31日	同左	平成27年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	0円00銭	未定	—
効力発生日	—	未定	—
配当原資	—	未定	—

6. 理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営課題の一つとして認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、期末配当として年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針としてまいりました。

しかしながら、平成28年2月15日公表させて頂きましたとおり、平成27年12月期につきましては海外事業一部撤退による損失の計上により配当は見送ることとし、平成28年12月期の期末配当予想につきましては未定とさせて頂きました。

この度、平成28年12月期個別業績の当期純利益が157百万円の見込みとなります。しかしながら、グループ全体の将来の事業展開と、経営体質・財務体質強化の観点より、誠に遺憾ながら、平成28年12月期の剰余金の配当につきましても引続き見送ることといたしました。

以上

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。